

キャリアプロジェクト啓

Kei だより

2024

今回は1学期末から2学期の2年生のKeiプロジェクトを中心に紹介します。

◆**RESAS出前授業** 7月19日(金)
関東経済産業局の小島様、渡邊様による出前授業が行われました。RESAS(リサーチ)は産業構造や人口動態、人の流れなどのデータが集約されており、それらのデータを分析・活用することで、より説得力のある提案や根拠を示すことができます。ぜひ活用してみましょう。

◆**群馬パース大学高大接続プログラム**
本校との高大連携協定を締結した群馬パース大学(群馬県高崎市)でのプログラムが8月6日～8日の3日間開催され、医療ゼミの生徒45名が参加しました。看護・理学療法・言語聴覚・放射線・臨床工学等7学科に分かれ、他校の生徒とともに講義・実習・実験等を行いました。最終日に報告会が実施され、それぞれの学科の特色を生かした発表が行われました。



2年生 Kei ゼミ

◆2年生は10のゼミに分かれて活動をしています。9月6日(金)にはKeiプロDayと称し、ゼミごとの実地研修を行いました。(詳細は次頁)実地研修の前には、探究コーディネーターの今村亮先生が実地研修の意義や目標を決めて臨むことの大切さをお話くださいました。



9月20日(金)には、各ゼミで中間発表が行われ、KeiプロDayでの学びを生かした内容が多くありました。



「キャリアプロジェクト啓」とは？

佐野東高校では、「キャリアプロジェクト啓」と称する探究型キャリア教育に取り組んでいます。生徒一人ひとりが自身の適性や興味関心に応じて、課題を設定し研究を重ねることで、キャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力の育成を目指しています。大学や企業等との連携や協働により、自ら設定した課題をより深めるとともに、社会の一員としての自覚を持ち、自己実現を図ることをねらいとしています。特に「総合的な探究の時間」での一連の活動を“Kei”と呼び、3年間を通じて自分自身の進路に向き合います。

教員研修会



◆10月4日(金)生徒の主体的な学びの実現とKeiプロジェクト発展のために、教員研修会を実施しました。独立行政法人教職員支援機構理事長である荒瀬克己先生にご来校いただき、『生徒が主語になる学校』と題した講演会を開催しました。京都市立堀川高校の事例を多数ご提示いただき、探究を軸に学びを深めることが、生徒の進路実現だけでなく今後の人生を歩む力を育成につながるお話いただきました。生徒一人ひとりがこれからの社会を生きていくために、学校はいつ・どんな準備を提供すべきかを考える時間となりました。

桜美林大学高大連携コーディネーターの今村亮先生よりメッセージをいただきました。三菱みらい育成財団の助成事業の一環として2学期から本校の探究コーディネーターとして、Keiプロジェクトをサポートしてくださっています。

◆佐野東高生の印象は？

佐野東高校の生徒さんと接すると、学校生活を心底楽しんでいる様子がひしひしと伝わってきます。自分たちでは実感できないかもしれませんが、これはとても特別なことです。

◆Keiプロに取り組む生徒へのメッセージをお願いします！

「やってみたい」と心から思えるテーマを見つけて、迷わず取り組みましょう。佐野東高校には、あなたの熱意を笑う人はいません。一度しかない高校時代、後悔してたらもったいないです。



2年 Keiプロ Day 報告

機械ゼミ

足利大学工学部・野田佳雅先生の研究室を訪問しました。大学の施設や大学院生の研究発表を見させていただくことができました。また、各自が準備した研究の進捗状況の発表を行い、野田先生からのアドバイスをいただきました。技術は多様に進化しているが費用や需要の観点から見るとまた違うものが見えてくることがわかったといった感想もありました。視点を変えることの大切さを学び、研究に生かしていこうと感じたようです。



自然科学ゼミ

足利大学工学部・加治屋大介先生の研究室を訪問しました。酸・塩基（クエン酸と炭酸水素ナトリウム）の反応において、量的関係を調べる実験を行い、その結果から混合物の割合を推定しました。生徒たちは実験でより精密な機器等にも触れることができ、仮説を立てることや実験の手順を考えることの大切さにも気づくことができました。また、グループごとに研究内容を発表し、アドバイスもいただきました。加治屋先生のご指導により、各自のテーマを深めることができました。



建築土木ゼミ

足利大学工学部・仁田佳宏先生の研究室を訪問しました。生徒たちは最新の技術や充した設備に驚き、幅広い学びがあることを実感したようです。実験やドローンの操作などにも触れることができ、大学での学びに興味を持つことができました。各自のテーマに関しても助言していただき、「視点を変えて考えることが必要だとわかった」、「スライドに図や写真を用い、聞き手にわかりやすく、興味をもってもらうことが必要だ」、「実践的な学びの重要性も感じた」などの感想がありました。

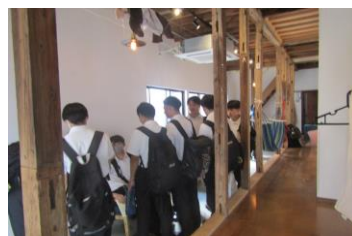


電気電子ゼミ

足利大学工学部・西剛伺先生の研究室において電気の特性についての講義を受けました。さらに、研究室内の基盤等を用いて、電熱サーモグラフィーで測定したり、パソコンを起動させた時の電力を測定したりしました。その後、5班に分かれ夏休みにまとめた研究結果を発表し、アドバイスをいただきました。生徒たちは食い入るように話を聞き、研究を行う際の視点や類似の研究内容を提示していただきました。



まちゼミ・国際ゼミ



まちゼミ、国際ゼミは佐野市の地域おこし協力隊の方々にご協力いただきました。まちゼミは佐野市役所を会場に、江田睦美様、城石泰宏様、関根香織様にそれぞれの活動内容を伺うとともに、各自のテーマに関する質疑を行いました。佐野市をより発展させるために、様々な角度からのプランをご提示いただきました。国際ゼミでは、砂子間仁実様に佐野市のインバウンド観光客を増やすための取組についてお話しいただきました。また、運営しているゲストハウスにも案内していただき、多文化共生を体感できました。

こどもゼミ

呑竜幼稚園と馬門鏡もち保育園での実習を行いました。

佐野日本大学短期大学の加藤茉莉美先生と栗原多恵先生に子どもと接する際のポイントをご指導いただいた上で、実際に園児と触れ合いました。何に興味を持つか、いかに安全に遊ぶかなど様々な視点で考えることができたようです。午後はフィードバックを行い各自の研究につなげました。



栄養ゼミ

佐野日本大学短期大学栄養士フィールドの藤田睦先生・眞野晴香先生の講義に参加しました。調理実習では、コンビニにインスタントでも手に入る身近な食材で「おにぎりず」のキットを用いて料理を作りました。スポーツ栄養に関するテーマを設定している生徒が多いため、栄養管理をする前と後の結果をまとめる際の注意点や運動と並行して食事の管理をすることの重要性を学ぶことができました。



教育ゼミ

夏休み中の4日間において佐野こどもクラブ、天明こどもクラブ等での学習支援ボランティアに参加



しました。また、KeiプロDayでは、佐野小学校に授業見学に行きました。教師の姿を見て、教育の現場に携わりたいという想いを強くした生徒もいました。午後は今村先生のご指導により、見学のフィードバックを行いグループで様々な意見を出し合いました。

医療ゼミ

佐野厚生総合病院を訪れ、地域の医療の現状や課題についての講話や看護・理学療法・作業療法などの医療分野別に仕事内容等の説明をしていただきました。また、各医療分野に分かれての実習も行い、将来医療に携わることを目指している生徒たちにとって、現場の方々からのアドバイスは刺激になりました。



おわりに ◆ 2学期に入ってすぐ KeiプロDay がありました。学校の外に出向いて、実際に大学や社会に触れたことで、自分自身の将来について考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。中間発表を経て、ゼミでの研究をさらに深めようという人やテーマを変えた人など様々ですが、自分の進路にも関連するような「知りたい」を追究してくれることを望みます。1月には Kei 学年発表会があります。自分の言葉で自分の考えや思いを伝えられるよう研究を進めてください。◆ 次回は1年生の活動の様子を中心に紹介したいと考えています。（文責 早川）